

2016年11月7日

ODA 案件化調査事業として JICA より委託  
ベトナムでの水環境管理を向上するために  
オプテックスの簡易水質測定キットを使った調査を開始

オプテックス株式会社  
滋賀県大津市雄琴5丁目8-12  
取締役会長兼代表取締役社長 小林 徹  
コード番号 6914 東証第一部

オプテックス株式会社（本社：滋賀県大津市、取締役会長兼代表取締役社長：小林 徹、以下「オプテックス」）は、「ベトナムにおける流域水環境管理能力向上のための簡易水質測定キットと自動データ収集技術の導入案件化調査」について JICA から委託され、2016年11月より実証をスタートいたします。この調査は、当社と京都大学やベトナムの環境省などと協力し、現地での有用性を検証します。

ベトナムでは、急速な社会経済発展により工業化、都市化が進み、特に都市部においては生活排水や産業排水の流入による河川の水環境汚染が深刻な問題となっています。

この状況に対しベトナム政府は、工場への立入検査の強化や、都市内河川の改修、海外諸国からの技術や人的援助による環境対策に取り組んでいます。しかし、水質汚染の改善において、データの収集や環境モニタリングをするには、活動する予算と人的リソースが不十分なため、改善策の検討に至っていないのが現状です。

そこで、オプテックスが提供する誰にでも簡単に使える水質キットと通信によるデータ収集が自動化できるシステム「WATER it」を導入し、低予算・省人員で取り組めるモニタリングの適用可能性の実証を行います。現地要請機関からもこうした課題に対し、本製品や技術が期待できるものと判断され採用が決定しました。ベトナムの主要河川であるカウ川（ハノイ）、ドンナイ川（ホーチミン）流域から検証をスタートし、パイロット事業の結果を持って、他流域への普及を図り、ベトナム全土の水質汚染の改善に貢献することを目指しています。



## 【簡易水質測定システムについて】

簡易水質測定システム「WATER it」は、専用試薬に反応させた現場の水を計測器にセットするだけで、含まれている物質の含有量がデジタルで測定されます。またそのデータはクラウドサーバーに自動的にアップロードできます。これにより誰にでも簡単に水質の測定を行うことが可能となるとともに、遠隔地にいる管理者も、各測定エリアの水質の状態をすぐに閲覧・管理することができます。

このように簡易にデータ収集・管理ができれば、測定対象の水質に異変があれば、即座に対応・措置をとることにもつながります。「WATER it」は水質環境の改善をIoT（Internet Of Things）に対応させた業界先駆けてのシステムです。

## 【取組みステップ】

STEP1：案件化調査事業（2016年11月～2017年6月）

カウ川、ドンナイ川流域で、簡易水質測定キットを使用し、低予算・省人員かつ正確に水質測定ができるかを実証（2016年11月～2017年2月）



STEP2：実証活動を通して明らかになった課題の把握と分析を行い、ベトナム全土で展開できる事業計画を策定（2017年）



STEP3：

- ・水環境専門家による各自治体などへのデモンストレーション
- ・政府に導入促進に向けた政策への提案
- ・東南アジア諸国への普及

### 【本件に関するお問い合わせ先】

オプテックス株式会社 管理本部 広報・IR課 大塚 暁子

TEL：077-579-8000、Direct：080-4851-1366

URL：<http://www.optex.co.jp/>